

項	重点目標(取組)	取組状況・成果・課題	評	改善策	学校関係者評価でいただいた意見
一人一人の自立に向けた力を伸ばす	身近な自然とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>四季を通して裏山の日歩が丘に出かけ、友達と一緒に自然にふれて遊んだり、地域の方にツバメの子育ての様子を見せていただいたり、レンゲ畑や泥田で遊ばせていただいたりしたことが幼児たちにとって貴重な体験となった。</li> <li>地域の方に協力いただきながら園内で米作りに取り組んだり、夏野菜やサツマイモなどを育てたりした。自分たちで育てて収穫したり、味わったりすることを通して、幼児が食に対する興味、関心を一層もつようになった。</li> <li>ウサギ3羽、リス2匹を育て始め、幼児たちが率先して世話したり、様子を見たりして親しみをもっている。飼育動物に日々かかわることで、小さな命を大切に思う気持ちが育っていった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然とのかかわりの中での幼児の体験を日々の保育の中にどう生かしていくのか、教師間で話し合い、保育計画に取り入れていく。</li> <li>季節に応じて野菜や花を育てられるように、計画を綿密に立てて実践していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然に恵まれた地域性を生かし、幼児が伸び伸びと自分の力を発揮できるような保育を目指してほしい。</li> <li>幼児の明るい元気な姿こそが、地域の活性化につながる。今後もいろいろな場で交流できるとよい。</li> </ul>
	様々な人とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域散策に出かけ、地域の方に声をかけていただいたり、四季折々の生き物や草花などを見せていただいたりしたことで幼児が地域の方に親しみや感謝の気持ちをもち、より身近に感じるようになった。</li> <li>外部からの講師を招き、サッカー教室やラグビー教室を開催したことで、幼児がサッカーやラグビーに興味をもち、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わえた。</li> <li>大沢幼稚園との交流や未就園児との触れ合いのなかで、様々な友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わったり、年下の友達にやさしくかかわろうとする気持ちが育ったりした。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>来園してくださる方々に声をかけたり、かかわったりしていく幼児が多い。自分から挨拶をしたり、話をしたりするなど、思いやりの気持ちをもってかかわっていくことができるよう、援助をしていく。</li> </ul>	
	表現活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とふれて遊ぶ中で感動体験を重ね、友達と共通の思いを味わったことが、造形活動や身体表現、リズム表現など様々な表現活動へとつながっていった。幼児たちが味わっているいろいろな思いを素直に表現できる場を積極的につくるように心がけた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に遊ぶ中で、楽しさや喜びなど一人一人が味わっている思いを教師が捉え、それぞれが表現していることを認めていくことがいけるように、研修を重ねていきたい。</li> </ul>	
教職員・学校の魅力と実力を磨き高める	資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内研修の機会をもち、互いの保育を見合って、幼児理解や援助の在り方について活発に意見交換したことで、それぞれの教師が自分の保育を見直す機会がもてた。</li> <li>あつまれこうべっこに参加し、他園の幼児や教諭と一緒に遊びを進めていく中で、幼児がのびのびと遊びが楽しめる環境づくりや援助について学ぶ機会をもつことができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修で学んだことを意識し、刺激し合ったり、互いを高め合ったりすることのできる職員組織づくりに努めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページを活用して情報発信されていて、園の様子がよく分かる。</li> <li>公立幼稚園が存続していくためには、公立幼稚園のよさや特色をアピールするための手段の工夫が必要である。</li> </ul>
	施設設備の安全点検・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドの土の流出や地割れを修復するために、児童館の先生方の協力をいただきながら、全職員でグラウンド整備に取り組んだ。今後も繰り返し修復していく必要がある。</li> <li>園舎西側の非常階段の修繕をし、避難時により安全に避難できるようになった。</li> <li>2月に園庭や門周辺に監視カメラが設置され、不審者対策や幼児の安全確保がさらに充実した。</li> <li>避難訓練を月1回実施した。火災や地震、不審者など様々な事象を想定するだけでなく、発生時刻や発生場所などいろいろな場合を想定して訓練したことで、その場に応じて行動することの大切さを認識した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドは日歩が丘からの雨水の通り道になっており、土の流出は避けられない。人力では限界があるが、今後も補修に努めたい。</li> <li>日歩が丘の管理は職員だけでは難しい。地域の方や保護者の力を借りることも考えていく必要である。</li> </ul>	
	幼稚園教育の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>園だよりやその他の配布物、保護者会などの機会を通して、幼児の育ちや教師の保育のねらい、願いなどを日々の生活や遊びの様子から分かりやすく伝えた。</li> <li>ホームページでは、日々の幼稚園生活を通して幼児の育ちや学びが伝わるように写真やつぶやきなどの表し方を工夫し、こまめに更新することを心がけた。</li> <li>研究会での公開保育を実施し、幼稚園教育について地域の小学校、中学校の先生方に伝えたり、本園の取組みを他園の先生方に伝えたりする機会がもてた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページや園だよりの作成については、見るまたは読む側の目線に立って分かりやすく伝えていくことが大切である。職員研修の1つとして今後も取り組みたい。</li> </ul>	

特色ある神戸の教育を更に発展させる	絵本とのふれあい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者による絵本の読み聞かせやボランティアによる大型紙芝居や昔話の読み語りなどを通して、幼児が絵本に親しみをもち、お話の世界を楽しむ機会となった。これからも継続していきたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然、童話、昔話、紙芝居など、幼児が自分の興味や関心をもったいろいろな絵本や紙芝居にふれる機会につながるよう、新刊も含めた絵本や図書を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児たちは日歩が丘で心も体も動かして遊んでいる。昔からある豊かな環境の中での活動を今後も継続できるように、地域の力を借りて安全を確保することが大切である。</li> </ul>
	体力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広いグラウンドがある環境を生かし、12月から毎朝全園児が集まってマラソンや体操をする時間を設けた。幼児たちは、寒くても戸外で身体を動かして遊ぶ気持ちよさを味わえた。</li> <li>・年間を通して日歩が丘で遊ぶ機会を多くもち、自然の中でのびのびと体を動かして遊んだり、山道や崖を自分の力で登ったりする経験が存分にできた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車で通園する幼児が多く、歩く経験の少ない幼児が目立つ。来年度は、近隣散策に積極的に出かけ、歩いて出かけることの楽しさを味わいながら、体力の向上につなげていくようにしたい。</li> </ul>	
	3年保育の環境を生かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階と2階で保育室の離れている幼児がしぜんとかかわって遊べるように教師が意識して保育を進めることで、3学年が互いに刺激を受けながら遊びを楽しめた。また、様々な行事の中で、3学年がかかわって遊べるように計画したり、幼児同士のかかわりを支えたりした。年下の友達を思いやる気持ちをもてるようになったり、年上の友達にやさしくかかわってもらうれしさを感じたりしている。</li> <li>・年長児は今までの園生活の経験を生かしながら、遊びや生活を自分達で進めようとしている。教師がこれまでの園生活でどのような経験をしてきたのかを把握し、保育していくことで、年長児の育ちを支える大切さを実感した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児と進級児が混在する4歳児の育ちを支える支援の在り方を探っていく必要がある。日々の幼児の様子を細やかに記録し、教師間で話し合い、考えていきたい。</li> </ul>	
	幼小連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼小接続のための連携事業」の研究指定を受け、長尾小学校とオリンピック保育園と共に幼小連携への取組みを行った。年長児が1年生の生活科や国語の授業に参加したり、日歩が丘で一緒に遊んだりするなどの交流の機会を多くもつことができた。</li> <li>・小学校と幼稚園の教諭がそれぞれの授業や保育を見合ったり、一緒に研修を行ったりすることを通して、互いのことを知ることで、幼小連携していくことの大切さを改めて実感した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その場限りの交流にとどまることなく、互いの子供の発達にとって必要な学びの場となるよう、小学校の先生方と研究を進めていきたい。</li> </ul>	
市民が自ら学び子供の育ちを共に支える	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・降園時や保護者会などを通して、幼児の姿や教師の願いなどを分かりやすく伝えた。保護者会への出席数の減少が課題である。</li> <li>・登降園時の情報交換や通園ノートを活用して保護者の思いを受け止めるなど、信頼関係づくりに努めた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が気軽に相談したり、悩みを話したりすることのできるような信頼関係の構築を心がけ、幼稚園教育について理解いただき、協力いただけるようにしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長尾幼稚園の素晴らしさ、公立幼稚園のよさを伝えてもらえるように保護者、地域との連携を図っていくことが大切である。</li> </ul>
	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域散策や米作りなどを通して、地域の方の多大な協力をいただき、幼児の育ちを支えてくださっている。地域とのかかわりを通した幼児の育ちを地域の方に伝えていき、共に支え合う関係づくりを心がけた。</li> <li>・長尾消防団との合同避難訓練では、地域の方の見守りのもとで生活できている安心感をもった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の実態や取組みを地域の方に伝えていくことで、協力や理解を得られるようにし、共に幼児を育て見守り、励ましていただけるような信頼関係を築いていく。</li> </ul>	